

第3回福井市水道事業ビジョン策定委員会の議事要旨等

1. 開催日時連絡

令和元年11月1日(金)14時～

2. 出席者

宇治橋委員長外委員3名、塚谷局長、竹澤次長、朝倉副理事、事務局6名、  
他 関係所属長4名

3. 議事要旨(事務局からの説明は資料参照)

委員からの主な質問・意見	事務局からの説明・回答
<b>議題1 施策と具体的取組について</b>	
九頭竜浄水場の耐震化が完了するまでに大地震が起きた場合を想定しているのか。 浸水被害への対応はしているのか。	大地震での対応については、耐震化が完了している施設もあり、避難所などに設置している非常用貯水装置や他自治体の応急給水なども活用しながら給水を維持していくことになる。 九頭竜浄水場は福井市の洪水ハザードマップでは浸水想定区域となっていないが、停電になった場合においても非常用自家発電機と3日分の燃料を備え、対応できるようにしている。
数値目標がわかりにくい項目もあるので、表現方法を検討したほうがよい。	
<b>議題2 福井市水道事業ビジョン2020(案)について</b>	
(課題をもっと「見える化」する。)	4つの重点課題と解決のために取り組むべき方向性を示すほか、個別の課題・取組を追記する。
(水道料金が低廉であることを示す。)	内容を整理して、ビジョン(案)に記載する。
(更新費用を確保するため料金改定の必要性があることを示す。)	
(管路の更新基準を設定した過程を示す。)	
(耐震化率を高める必要性を示す。)	
ビジョン案は市民にどのように示すのか。周知の方法はどのように考えているか。 紙媒体での周知も考えてほしい。	今後、パブリックコメントを行い、意見募集する。策定後はホームページや広報紙により市民へ周知する。

( )は、前回までに委員から出た意見